

## 新潟県納税貯蓄組合総連合会 優秀賞

### 今だからこそ

長岡市立山本中学校

三年 八木 愛世

私たち中学生の中には、税金の使い道など知らない人もいると思います。世間ではコロナウイルスが流行し、感染者が増え続けています。一時、病床が足りなくなったり、マスクが店から無くなったりということがありました。一方、第二波が今やっけてきますが病床やマスクなどの問題は、今のところ見られません。しかし、コロナウイルスの影響で店が繁盛せず、閉店を余儀なくしなければいけなくなるという問題があります。四月二十日には、国民一人あたり十万円を給付する、「特別定額給付金」の支援制度を発表していました。そこで私は疑問に思いました。こんなにたくさんのお金はどのようにして給付されるのだろうか。調べてみると、そのお金は税金からということが分かりました。十万円給付以外にも、話題のアベノマスクも国民の税金で作られていることが分かりました。布製マスクは使い捨てではなく、再利用が可能で、急激に拡大するマスク需要に対応する上で非常に有効とされ、四百六十六億で布マスクが全国へ配布されました。一方、国民側からは、「税金の無駄遣い」、「ありがた迷惑」などと批判が殺到していました。また更に、

GOTOトラベルキャンペーンが実施され、「不平等」などという声も上がっています。

それでは、今のこのような状況の中、どのような税金の使い方であれば良いのでしょうか。私が考える税金の使われ方は、コロナ感染者の病床を病院ではなく、コロナウイルスの集中治療のできる施設を建設したり、ワクチンの開発に力を入れることだと思っています。今、自宅療養などが行われていますが、その影響で自宅内感染が発生してしまっています。もちろん医療従事者の人手不足は否めませんが、大切な家族や友人を守るためにも、重要なことだと私は思います。また、今の時期は熱中症の心配もあるため、より感染症予防を徹底する必要があります。そういった税金の使われ方でも良いのではないのでしょうか。

普段からお世話になっている税金ですが、私たちが思っている以上に使われ方は様々で、多くあると思います。国民の税金をどのようにして使うのかを決めるのは私たちではありませんが、一つの意見、または、希望として自分の思う税金の使われ方を考えて持っても良いのではないのでしょうか。大人になつて急に知るのではなく、今から少しずつ知っておくことで、より良い社会が築けると 생각합니다。

今だからこそ、税を知ることが大切であり、今だからこそ、税の使い方、あるいは使われ方について考えることは重要なのではないのでしょうか。